Centimetres
KODAK Color Control Patches © The Tiffen Company, 2000
Kodak LICENSED PRODUCT
Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black
A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

特別
ル 4
5597
2

出来世京古寺巻之三目録

妙顕寺　　石神　付星天
七野社　　舟岡
同鹿堂　付　白毫院　宗武ノ墳
神色堂　付　柏野　亭
大徳寺　　雲林院
若狭門　　上野
鞍馬　付　寺之鎮石宗　并
大文森　　鹿苑寺　付　鹿堂
紙屋川　付　宇治橋　并　院石

縣宮　　墓墓堂
時雨亭
宗野
今宮　付
宗行大門
安楽花
平野明神
小野之天神　付

阿陪氏

七冊之内

58 2041

宮内庁書陵部図書

祖日寺　　光松の神　　東之丈
西方寺　　岡崎　付　石をる場　　桜ヶ丘
經王堂　付　　弁慶雲　　東向観音
堀川　　晴明稲荷　　庚塔
二條城　　耳敏川　　神泉苑
弁紙官　　玄昉塚　付　萩杜　　西院
軍兵堂　　市国寺　　西本願寺
水薬師　　大通寺　　清原傾城町
西八条清盛西石塔　　東寺　付　五重塔
西寺　　吉祥院　　長岡杜

妙見寺

妙見寺は日蓮宗法華山と号す乃弟一也日蓮上人
上京の弟子日像乃開基とし て小川通より堂の
西寺乃西とし て町筋よりは西堂人は俗姓は三宅
氏幼名は伊人 実名は源男 父は重実弟宮の
重忠 母は小花 ありて 安房国 生 誕 新 よ 流 さ く。
京 氏 乃 女 さ よ 祖 日 と 会 じ ぬ
ぐ と り ぬ る 我 乃 義 よ。 日 天 よ の 光 明 と 仰 と 題 を
と 尺 く な め り。 貞 元 年 二 月 十 六 日 小 海 に り。 十 二
歳 ま て 国 内 乃 法 流 山 に 在 る 師 と り。 十 八 歳 ま
し て 髪 と る。 こ の 日 蓮 と 号 す。 二 年 に る ま こ と

天竺を学ぶ。廣く諸つふまつること五二巻の間。ちかしむ
こと除くとなく。初めて七宮より。鼎員とらるゝ。拾遺集
へて。相撲の年。時新よ。法花經の法つを。あとに。
を。宇年。巻の夏。伊豆國伝来。たゝられぱよ。經会
りめ。くさを。又法華とひろむ。魔障の祈り。
ひの古年。かいまつれを。でかの貢と。ゆらくさやよ。經の
寄物。あり方よ。ゆるされて。甲斐。延山。こゝろ。武蔵
國池上よりこと。ゆるく法花經とゆ。巻を。
十月ナゆよ。巻これを。六十一巻とゝ。中は二十巻
九年を。吉田兼俱。ゆ。新ゆ。と。為る日奥上人。也。
兼俱大よ感じゆとつ
李門の。ゆ。一字。ゆ。る人。ゆ。ゆ。ゆ

[illegible]

縣宮

一京の小路洞院の西にあり。古老の伝に云ふ。内裏の西の門なり。小路西洞院門なりと云へり。腰石に深目なる物なり。中京師光卿の

我が心猶こころの内まで見えてそまつ
[illegible]

七郎社

大宮通の西。舟岡の東にあり。猶の如く七郎あり。岡郎小郎。義郎。義郎。[illegible]郎。[illegible]郎。[illegible]

う羊羹ゆうさんとさいとうとおやーむ
ゆどの地獄の人いかりつどひ所をさまで幕おいまいて。
道とをくべ酒のこ称うこひ人くふふ酒ごーー花をふく
わうぐーおとうるの赤げよう立りとうる豆ーーーーもう
とーやうさてかくそうひ計けり
ふる景乃言ふのんるる景乃えつしかう羊羹とうとうとそうろ
重蓋郷
ふる景乃面の方面うつつあの形也ゆ中よ重蓋
ちあり。弘法大師の開基也。奥よ景乃堂とう云
所あり。若年永没義の板。年氏ゆ孫の落ちづ
りして敷されしよ。年三位中将重衡の家来家
第うるとさうーーーー

中納言成范卿の姫君なりしが、流れうせ、近衛殿の
ところへまいりて、もとゆるされの侍従殿と、人よりまさりて、髪とそら
ゆるされ、貴と成よりまさりて、ものをまつぐさ、ひとへぐ
しがなつかしの郎殿乃中ゆり男をなぜ、とうや、で
きぬ屋くそうかんをかい

ひとかさ清水よりくまをたてまつる

同慶堂付白毫院　時雨亭

頂慶堂いまは、南のあり。小野篁乃建立也
堂の西ゑんまをしたがふ。龍山院の御ぞうぞ
年中小供養と人ごと乃堂ふ。でまつる。釋迦会佛
とんぐめるが堂乃西面の彩よ。釋迦を梅へ兎達
とかし。会佛をそもそも小同慶頂丸湯立ふんど

とつきをとつきをとつ。舞乃時、ぞ、ぞ、ぞ

釈迦堂 付 柏殿 紫野

西来庵。今は多武峯通といふ。其方今出川の南より
わり。花陰本通ゞ之こゝ西堂に面向して門は釈
迦一体まします。開明天皇の御守つと本尊なり
毎年二月八日より十日まで開山堂ゝ柏殿迄
とかるゝいと貴重とかゝ堂とて。こゝ出て来し。柏殿
を大華恵寺用ゆゝこゝ。徳川小藩摩堂あり。本
尊乃石動ハ。慈恵信正の御作也。ゆゝ乃家屋よ
続く一名るゝ不わり。前々乃御判。皮義法とこゝ
らとこゝ出しとして。或時ハ絵やゝる年貴重とま也
しと迄堂ゝ柏殿と柏殿とつゝ。ゝ柏殿と
ゝ年 積麗堂乃圓麗ゝの沢山堂より流出
しゝ乃加ゝ所殿とゝ。柏殿も沢殿もと
ゝ家ゝなりゝ
積麗ゝ沢乃南 紫野 ゝ殿ゝ乃戸ゝ
紫野
是七殿乃ひゝ也。夫本和の御源氏ゝ
実人のゝゝゝゝ
ゝ
ゝ

はるかにとおもひしかども
名をもとめ先をひて流水のゆきかへるを
見てみ物哀れ

大德寺

紫雲山大德寺は京都よりあり。雲山大燈國師乃宗旨
なり。開山は播磨摂西の人也。一説に書写山の僧
信律師より人なり。建長年中大應國師に参じ
参禪明し。京よりのぼりて東山に庵を結ぶ。宗旨
美の旨ふかく深く究めこれあり。法堂とこれを
院内に依あさ〳〵ばらなる堂数あり。西の
特賜無福大燈国師乃号と称す。寺領
数千石に寄附あり。延元二年十二月廿二日遷化あり
寿千六歳なり

雲林院

大徳寺の門おもてのさきよりに村あり。西ふうら井と号す。
雲林院の庫あり。ぬへ〳〵。當家親王住みたまふ。遍昭
僧正も住ませ給ふ。寛平法皇住ませ給ふ。名所の
桜あり。枝ぶり古奇なり。やぶ林院乃花らん
とて世にもてはやす。やそのごとくやむとも
と詠ぜり。遍昭僧正
立ちて咲く桜乃木ぶりとて。
桜ちりもすし。僧正遍昭が古歌也。深道海て
の西乃桜とをりて和歌

とどうんてかくふそくてやうもけうこ〜ゝ武郎
つうつゝふさ一枝おりうねゆ洛りうとるとれ
かくるうたゝとどゝ樹りうんうとるく農民の樣とお
つとんそとゆりうざてかくそ出ひけうもくる
名ゆりゆゆゝ林よ金てれ洛行本抗うたゆゆ
今文 付 名徒り 工作の 宗作先門
ゝ社ハ大徳るのゝよりゝ一深院乃洛うゝ四屬人年ゝ
度病流りてゝ洛年洛ゝ人ゆりゝゆりて洛くよ
ゝとゝうゝざうゝうとうれ洛年とゝ出ゝよもうる
わゝ保ゝ年ゝよゝ文度ゝやうて弟紀ちゝうるゝざうと
くゝゝゝゝよゝ社ゝうゝて洛ゝうゝ祈うとうゝをて今文
と号ゝゝゝ年ゝゝ初りゆゝ金ゝうるゝゝ河度ゝゆゝ洛ゝ二のよ

[illegible]の[illegible]とて[illegible]

今[illegible]

[illegible]

[illegible]

種とかりあつめ蒔ものもあり蒔つしら書まうしてさ秋
山堅の傳よ堅堅古御門 取て仕へふハ紫堅此古井
のまゝ此へ今大源竜と号ち池と深ハ也ハとと所ろく
の神屋根屋ろ乃祖先ろとやうやう屋のほの井ハ
苔此古井也 ものを和尚位ありて二月ナ日ハ堅ありろ
ありて安楽花といふ花大成ニ堅の村人多くれ小袖など
つう祈ろかうう若くが多ごこにおりくるを結ぶ結ぶ
段ありして踊りぐふ犀乃絵ありて郷は都とさら
ふごを拾ふ拾ふ拾ふ紫ろしやちひむくいろ人間のく
拾ひくけどひてがの拾ふとうもて偽ろで小袖様ろ
けかとひへを村民ともも拾ふて節ひよりて有
ろく拾ひろうとどいとそべてくふあやうさまもの

[illegible]

[illegible]

大宮社

[illegible]

[illegible]

[illegible]

種日命・菅原氏神也・だうか中原・清原・秋篠・
八姓の祖神也・それぞれの神・紙屋の神
宮・北野の神・紙屋の祖父・平野の神也・平野の神
はこうろうの・ごせこの・田わらの・ごたこの・
しゃうろうの・家屋の神・
紙屋川・付る説・後石
平野・ちかの・ちかの・ちかの・ちかの・ちかの・
川と紙屋川・ちかの・ちかの・ちかの・ちかの・
ちかの・ちかの・紙とすきけるちかの・ちかの・
て・紙屋院・ちかの・ちかの・紙屋院の・ちかの・
ちかの・ちかの・ちかの・紙屋川・ちかの・
ちかの・ちかの・ちかの・ちかの・ちかの・
出雲院の石と・ちかの・紙屋の・ちかの・
ちかの・ちかの・ちかの・ちかの・ちかの・
ちかの・ちかの・ちかの・ちかの・ちかの・
ちかの・ちかの・ちかの・ちかの・ちかの・
かくそうの・ちかの・
今もそれ・ちかの・紙や・ちかの・
小野天神
小野・ちかの・ちかの・ちかの・ちかの・

為相の神を祭とし給ひよ社と定たり
夏為相八幡宮の御神ようの御
也鏡さかの為ふるよ流さまを延喜三年二月廿六日
五十九歳ふして薨ひぬ
ありて鏡石らの教られあり天慶三年七月
右京の条の坊門ようの文子と云女あり神男を
う鏡して宮とる御ようの位ひ
初りく社と立らかの文江の加茂の神宮と敬
鏡宣しの社ふ大内の小鏡よ一乗寺の
社とまをん社とハ天満大自在天神とあひべと
ふりこう生ふ御く羽男まの宮殿信仰と文子と力
と合をて皇廟と立さり天徳三年ふ右大臣の
所嫌ふ天よ社ひとを変わり変為相さり紀
梅と毛しのひ鏡さりる
東門ふ旬ひ世ふ梅ひて生ふ
と称ひしよ梅の梅一枝のうちふ鏡
ぬ梅ひり花りて生ふ
げ。安楽寺ふ梅花毒ふ枯れ
天と云ふ梅の花ふ流り寺ふ花ひを
と称ひ神歳たつ
為相
羽男ふ宮の地ず一面観音ふくたり
神ふの田殿よ社ひ
り紀と云をまつ

しゐ丸といへる海賊人といへるつ。武蔵乃国神
ハ。赤社乃国よりもと。沖二十番乃往也。百番ハ今ハ
天王寺といふものおわ。社あり。赤ゐ乃井とぞ
京へ行事一三町いりあり。てこれわり。先ハ
ゐ稲荷ハ海乃神
舟乃ことに。祈りをなす所乃お
ほハ。宮乃義やさい也。ゐ乃ゐ乃井ゐ乃ゐ
乃ゐ輪ハ。弁才天乃。ゐ乃ゐ乃井ゐ乃ゐ稲を
ゐ。ゐ乃ハ。波乃ゐ乃ゐ神。情乃の神。ゐ乃ゐ乃ゐ
り。ゐ乃の。ハ弁才天乃。ゐ乃ゐ乃井ゐ乃ゐ
ら。ゐ乃ゐ乃ゐ。浄義ハ毎と。神よのとて
ゐ。ゐ乃ゐ乃ゐ。ゐ乃ゐ乃ゐ。ゐ乃ゐ乃ゐ

親よりの琴ひき給ふ所ゆ今を中絃乃調の日ゆ人ゆ
くるしいてまいりと也
をゆ八ゆ彩茶屋乃ゆ茶屋にて酒ゆ
合酒茶ゆ也
神とかゆ称達とゆ
樂乃にてふかよ
もゆ也と海うでゆ
清ゆ観音八信琴よ
ゆ
ゆ
ゆ

社乃もの名井と書とハ右とる備也右とる備式日ハ
とつゝまハ年中行事ふわりさる備ゝ稲荷わ
つ天照大神と祝ひ奉りてしるし備ゝ[illegible]と同時
とつゝ活陽七堂乃一也恒例原産流ゝ和国伝
九重代国堂の宮ふ活ゝ也代の左とる
ゝさ安原ゝかしわ堂ゝて七年堂乃ゝ[illegible]
堂ふゝつゝ八文字ゝ[illegible]ゝ[illegible]
久ゝと名ゝ

あ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
とゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

経王堂 付弁天松

十堂ハ小堂道[illegible]乃建[illegible]ゝ[illegible]経王堂とゝ[illegible]

新しく自然地蔵の石像あらはれ出たり。かの大
り榜たてく校たまふ八星霜年ゝ有り世に毎
慶雲とふ

雲乃名を字みを飛流れ法の玉丸花の御堂 てゝ秋
東向観音

經堂乃はなはあり。東よりの方へ向ふ世よりの世に
の観音と号と山号乃大長山建立として第弟
乃千手観音地蔵菩薩恵相法師初開ゝ山るて
文安年間の頃の天井の板ハ杉と材のまく
なるゝ。いひつふ

まづて此朝日ふ山と号東四の比記るゝ山とてき安
姫川

油山寺乃西北の麓乃東とかうと流へ流ゝ来ると姫川
とゝ大内裏ゝ対岸義川乃流と流合ゝ流れ
その川ゝ流ふ流ゝ
水ゝ流ゝ流れ流れ二流ゝ流ゝ姫川乃水 号秘密
色ゝその数乃流ゝ流ゝ流ゝ流ゝ流ゝ姫川乃水 地蔵菩薩
名乃流ゝ流ゝ流ゝ流ゝ流ゝ

ことうけたまはりぬ。その夜晴明の御はかをとりかたりけり。
晴明は物ちらくもてゆくと思ひて、京にとゞまりて、
帝一度の星をうかがはんとこれたばかり
ありけるとぞ。はかりそこなはれぬ。帝はいとゞ
色失ひたまひて、大よりはつかさろうと思ひ
に晴明をしばらくとゞめ置奉る。晴明は五条堂原の東の
今をさきをうかがひうくそひろ
晴明の式神あらはれとまうしたまふ
戻橋
一條堂原の東に小川あり。戻橋とぞいふ。昔安倍
の清明朝臣式神を使ひたまひけるとぞ
世にいはれ侍りける。清明朝臣の家
は今の土御門の東にあり。式神を使ひて
ありけるとぞ。清明が家は今の
橋の東にあり。式神は今の世に

二條城

新後のとぐなる改でくてとかくとくとくとあれ光ゆ
うの乃地をいくぎくとうとさきあさたるくかてゆ
ゆうたるくとくゆ田のつあわてりもの年でしにえけりとう
の海もゆたるづるゆ民乃ゆどくりけとあぎくくく
ちゆ蔵う。を刀を新よれるさまを海代なれば
屋を乃雑ハまもくく船とのぐ。あ橋のどう船
もいくく万業とたゆまてにめくたるおりまん。
も事物屋の祇園彩勝もたくくゆ実乃ゆれでる
望までもあまくくうふりゆ海先ぐこのるくさん
山林乃年うるくさたりふかひてそとりう橋のどう船
再敏川

朱雀門の西に二條の西のかわらといひて昔人今二條の
條の西小路のまゝ也法華堂ゆゑ一也
事柳井家の門前に家の二人合よ中院人道左大臣
朱雀集 乃至月毒数月をてみたれわたることを祈そや侍
人のとにとえさうの紙をこの毒数月をてうぢやうをんてを祈
神 家義
二條の南大炎の西わらわ天王洲経塚の西也殿
と乾隆院と号と。金堂すかりら岡のおんぢり家
石と畳めり。天長七月でりの宣海和尚あごひのわりし
拾人時。天皇宣旨洗の若女詩と勅結わりぶくさし洗
の手し宣めり手とみや。昔天王洲ゆらんあます
吋り。緒の石けりとそ。ちんとらぢよ。さ緒ひら

しと。紙宣ちうしとめくまつ人のりたらくらもそうぞ付
立位りのさまてとそ位緒ってとみや。白川法
山洗りて物とたらをてい洗人ちをその物祈
の炎御とをつへてあるとをぢこと物の九と号ちう
ふ。黒漆位ひむりんの物とたよ。ふ家判官為義とかる
らひの物九と拾りしとにや
神宮義乃洗よりう緒わって拾位なてを毎
神 紙宮
毒日西九面大炎の東宮町。てをと神紙者しつぢ
喜式り。神紙宮九面法よ神乃八座と号ちうしの。
八神座と八神白座天日神 高白座天日神 むを
座天日神 生白座天日神 黒白座天日神 九天賀

神。涉。食。法神。事。代。を神せ。ゆ。ゆ。勅使。とゝ。

は神事おこなひ。

神紙麁人庭乃神紙 付 雀蜂

玄生地蔵

此除乃面。玄生の地蔵。八。唐土の物乃事。そ。れ。

み。武蔵国乃住人。多。の。句。新。集。つ。る。事。といふ。武蔵人

とあり。此。事。ふ。に。ぞ。こ。ろ。ん。。ゆ。ゆ。米。と。と。け。し。。ゆ。ゆ。世

蔵。玄。信。ふ。現。じ。ま。ひ。ま。夫。神。通。方。乃。句。合。浦。玄。生

結。玄。と。ゆ。ふ。文。と。こ。ろ。を。よ。そ。へ。て。合。浦。ち。ち。ふ。

ゆ。ゆ。。追。ち。乃。軍。兵。法。ち。ち。ゆ。ゆ。。ち。ち。ゆ。ゆ。ち。と。

ど。ち。ち。玄。と。ち。ん。つ。ま。ど。ゆ。て。ゆ。ゆ。ち。ち。。地。蔵。乃。か。緒

れ。ゆ。け。の。面。ち。ち。毎。年。三。月。十。ち。ち。。世。ち。ち。ま。ち。ま。

大石仏あり。と武いるの不動尊堂乃念仏のとこ
間廃絶せり。薬師堂もし地蔵と
八幸地蔵遠乃外あり。また金一祈り。堂の念仏
も。輪上人の修造とぞや。大念仏乃ひくぞうと見
けり。本尊薬師

堂さきと遠き堂あり。如来でゝ也念仏の薬
薩様。堂内のくふあり。弘法様よりあり。毘沙門堂
中将奥乃ゝ。ごうとて。むかしあり。こもり。
ちゝ形と悪て化して。雀しあり。楼門乃高岩
ふあり。海鄙して山寺よ海り行ゝ所よ。雀ゝ社ゝ。
堂源重通よりゝとて。ふ祇園あり。ゝ。
勅結して。梯乃ゝ。ゝ社乃ゝ

やし絵とかりて。ゝ人ゝ
西院

堂乃ゝ。ゝ。ゝ。

寺園寺

出雲の南、堀川の西にあり。本堂は南面也。日蓮上人の第子日朗の開基也。西方は日蓮ようやうの尊像也。東方は釈迦の仏也。中堂は釈迦の二仏西にしてまた一堂に安置す。堀川はいにしへ流れしとて、ひとつの事故有りくそいひけり。

寺園寺教西上人

西方教西上人

六条堀川より岡山に親鸞生誕あり。俗姓は藤原氏也。織冠十八世の孫。父を右大臣藤原の基房といひけり。しかして父よりの遺命にて後寺花園の相続をしりぞき、法名を信和尚と称して、おのれ花園寺の

[illegible]と号す。ほとほとは[illegible]なり。[illegible]と号す。又六角堂の親鸞の弟子[illegible]なり。[illegible]ためなり。[illegible]上人の弟子[illegible]生[illegible]なり。[illegible]年を経て教化[illegible]あり。[illegible]東国[illegible]を[illegible]して[illegible]。六十余年にして京都よりの押小路の西の方[illegible]の東の[illegible]にて遷化し給ふ。時に弘長二年十二月廿八日寿九十余年なり。[illegible]して大谷に葬し奉る。[illegible]亀山院勅願[illegible]なり。[illegible]十一代[illegible]人の[illegible]門徒[illegible]

一説に[illegible]の中[illegible]勅願[illegible]

水茶師

七条堀川西詰の小橋に茶屋うりあり茶師豊乃おうり
清水清水もて流れとかちりいみ〳〵平和堂入を
清海楽病とうもて別に悩乱とおもうもよ堪ぐく
てうちとまうをて元ちつ色ぐそうあ師とうて陽
うりおうりと平彩色ぐ茶師八英仏
小く清水もまうぐ水師八英仏
へぐ御ぐ花をて清やうふ形やしまりしとみやとの
老もまでも弦人ぐ水とうて茶と英しに別にあひ
て病乱平仮乃いりうと勢しうや

牡丹ぐ清水茶師とうもて大ううあと

大通る左京

七条堀川より西へ一町
[illegible]
[illegible]
[illegible]

四月子、京の清涼殿と宣旨ありて、ぶちしそ
し、西の清涼殿と寺の鈴ありて、西ちと号ぶ、
とゝりて、京を海へ住仏氏、摂津国の人世十二歳ふ
して、かぶと、とゝよし、十八歳にして石剛の剣、保信氏の
弟子と、京の清涼殿にて、延暦廿三年、大唐へ渡る、
乃恵果和尚、高弘乃恵はとうを、大同元年より細
細し、弘仁七年、小野山と寺を同じく年より、
拾乃、承和二年三月廿一日、高野山金剛峯寺と、
天皇、宣旨、年六十二歳、廿一年十月、
はは大師と、諡号あり、
おもひをはまりつゝ、まづ、清涼殿にて、
京ちの西の門と、建立つ、大同裏乃、時吳氏
乃同の時、とゝ、ぶれり、高山門は、晃乃とゝ、けりそのこと

紀長者しゐふ給人わう親鸞聖人御柳殿とゐふ
白と仏ゐそぢはなふ
雅楽つ乃ふと面ゐ
門乃面ゐと水鏡波洗高言積といふゐと射を
とゐや

西寺

東ゐ乃西唐橋の南よりゐ守敏僧紀のゐるゐゐ守敏
ハ宿もゐふゐゐ南薄和ゐ白乃河ゐ天ゐ
ゐ天下大ゐ貝でゐと。ゐ三月ゐ京海ゐ作ゐて祇家
義ゐとゐて信面ゐ
ゐハ京海ゐ寺と長ゐ和ゐ
ゐを付ゐべ。ゐゐ
面ゐ面ゐゐ。

面ゐゐ京海ハ宮ゐ入ゐて見ゐゐ守敏わゐゐ
対ゐ。ゐ面ゐ
ゐハ大ゐ河乃仏
ゐゐ京海ゐ
ゐゐ。天下わゐ
て京海と行ゐ
し行ゐ守敏ゐ
正神ゐ守敏乃
双方ゐ
吉祥院
東ゐ面ゐ
ゐゐ

面ゐ面ゐ京海ゐ
ゐ。ゐ
ゐ。ゐ
ゐ。ゐ
ゐ。ゐ
ゐ。ゐ
ゐ。ゐ
ゐ。ゐ
ゐ。ゐ

矣武社

右祝詞乃下の方吉備国賀茂吉之高鷲神乃前宮と
正と通ふい廣と伝ふるべきかくおもふこそ猶そこひさ
ぶへつもとぞ

廣よ流ハ陽明門院ちかうたとき義の社まて　如本

於京都京之屋敷之二校